

第1回南高教養アップ講座

講師 滋賀大学データサイエンス学部 姫野 哲人 准教授

演題 「データの事例と活用」

【要旨】 近年、多くの分野でデータ分析の重要性が認識され、データを活用することにより様々な恩恵が得られている。一例として、POS データを使った商品販売戦略、個人に合わせたネット広告配信、迷惑メール自動振り分け機能、選挙における当確情報などが挙げられる。本講義では、当日に実施される1年生DSでの講演内容を発展させ、身近なデータサイエンスの実際とデータを扱う上での注意点などをお話しいただく。また、講義後には、滋賀大学在学中で4年生で起業した本校卒業生にオンラインで参加していただき、体験を踏まえて在校生にメッセージをいただく。

【生徒の感想】

○データサイエンスが色々な場面で私たちの生活に役立っていることを初めて知りました。データを活用しての課題解決だけでなく、医療や自動運転など、人を助けたり最先端の技術に役立っていたりして、データを活用すればそんなにすごいことができるんだと驚きました。データを利用するにあたって、データ収集や分析のときに気を付けることがたくさんあって、私も課題研究のときに活用したいと思いました。また、データサイエンスについてもっと知りたいと思いました。

○南高に入って初めてデータサイエンスに触れ、今までよく理解できないまま授業を受けてきましたが、その“データサイエンス”に私の中での輪郭をつけてくださったのが今回の講座でした。データサイエンスとは私たちとは遠い存在で関わりのないものだと思っていましたが、こんなに身近なものだったとは思いませんでした。ただ単に情報を集めてカンで分析するのではなく、データを集める段階から注意を払う姿勢を私も見習います。次回のデータサイエンスの授業に生かし、仲間と協力して発表を成功させたいです。貴重な講演を長時間にわたり行っていただき、ありがとうございました。

○データサイエンスについて、文系、理系関係ないと言われたとき、誰にでもできることだと思い私も頑張りたいと感じました。世の中には数々のデータがあり、統計・分析をして企業が成り立ち、カネ、モノなど世の中を支えることができているのだと感じました。講座を聴いて感じたことは、示しているデータは何と比較しているのか、どれくらいの情報を集めたものなのかはつきりさせることが大切だということです。テレビショッピングを見ていても、何と比較して「No1」なのか分からないと思ったことがありました。今回学んだことをCRに生かしたいです。

○自分とは関係のなさそうなところや、使っているようには思っていなかったところにもデータは活用され、たくさんの方に利用されているのだなと思いました。データサイエンスというものがどういうものなのか分からなかったけど、今回の教養アップ講座でどのようなことをする学問なのか、どういうことに活用することができるのか、すでに活用されているのかが少し分かりました。ネットやお店で見るデータが、何を対象に調べているのか、どんな人、環境の所でデータがとられているものなのかを自分でも考えてみたいですね。

○日常生活の中でも多くのデータが活用されていることを改めて実感しました。また、私たち一人一人は、買い物をする際にデータを提供している側であり、それが企業内でかなり活かされていることが分かりました。井本さんの話からは、実際に体験したから分かることを知ることができました。起業するきっかけやそのための準備など、なかなか普段知る機会がないので、貴重なお話が聴けて良かったです。この講座で学んだことを今後のCRの活動や進路選択に活用していければと思います。

○体育館での講演を踏まえて具体的な例を教えていただいたので、データサイエンスをより身近に感じることができました。特に、人の行動が予測できることや価格、リピート率を見て改善することでより良い企業をつくれるということは初めて知ったので、今後のデータサイエンスの授業でその知識を生かして学習していきたいと思います。また、標本抽出など数学で習ったことも出てきたので、幅広く色々な知識を身に付けていこうと思いました。データを扱う注意点についての説明が分かりやすく、次回からどこに気を付けてデータを扱うか、計画をたてることができました。今日は貴重な講演をありがとうございました。

○私は、授業で行うデータサイエンスは農林水産業のことだったり観光業のことだったり規模が大きすぎてあまり身近に感じられなかった。だが、今回の講座でデータサイエンスの印象が変わった。例えば、コンビニや自動運転に使われているという話についてである。コンビニはよく行くのでイメージがしやすい話だったし、私の父の車が自動ブレーキのある車なのでごく身近な話であった。データサイエンスは私たちの生活には関係のないものだと思っていたが、これらの例を聞いて、私たちの生活のいたるところにデータサイエンスが使われていることを知り、今までよりもずっと親近感が湧いた。今回の講座を聞いて、データサイエンスが楽しい学問であるのだという印象が強くなった。今後のデータサイエンスの授業をより一層頑張りたいと思う。

○今日の姫野先生の「データの事例と活用」を聞いて、データサイエンスに必要な力や気を付けるべき点がよく分かりました。自分たちは数値だけを見て、何とも比較せずにイメージだけで高い、低いや長い、短いなどを判断してしまっていると思いました。見えている数値やデータだけに惑わされず、隠されている大事な情報を見逃さないようにしないといけないと思いました。また、井本さんからは、会社の話や起業の話聞いて、今の社会でのデータの必要性などを改めて感じるすることができました。

○データサイエンスという言葉から難しいイメージを持っていました。しかし、お話を聞いているうちに身近なところでたくさん使われており、また企業での分析は売上向上や効率化だけでなく、廃棄量を減少させるなど、また違う学問分野にもつながることを知り、これからどんどん大切になっていくのだと思いました。データの事例を教えてください、最初は理系だと思って聞いていましたが興味がとても湧き、これからいろいろなデータを見るときの見方が変わって楽しみになりました。また、ちょうどCRでこれからアンケートをとろうと思っていたところで、統計をとるときに注意点や目的などをもう少し明確にして取り組みたいと思いました。井本さんのお話も、本当に貴重なお話を聞かせていただいて、私たちと年齢の近い方でこんなにすごいことができることを知れて良かったです。